

【中学生議会 安全・安心・快適なまち 市長答弁①】

質問区分	中学生議会	議員名	相田 翔 <small>あいだ しょう</small>	議員
発言順	NO:4	所管課名	地域づくり	課

質問事項	◇安全で安心できる安曇野市について
具体的な内容 (質問取り事項)	実際に体験できる高齢者対象の安全教室の実施

【市長答弁】

相田（あいだ）議員の質問にお答えいたします。

交通事故撲滅は、すべての皆さんの共通の願いであります。

安曇野市としても平成29年度交通安全運動推進計画で交通死亡事故ゼロ、人身事故発生件数380件以内を掲げ取り組んで参りましたが、平成29年中の市内の人身交通事故の発生件数は375件、傷者数が464人であり、関係機関や団体が一丸となり、市民総ぐるみの交通安全運動の展開により、昨年度は人身交通事故発生件数が市発足以来最も少ない件数となりました。

ただし、死者数が2人であり、尊い命が奪われたことは大変残念でありますし、亡くなられた方にはご冥福をお祈り申し上げます。

相田議員からは貴重なご提案をいただきました。

市では、高齢者が関わる事故が人身交通事故の4割になるという現状を受け止め、車や自転車の運転者にはもちろん、高齢者自身の交通事故防止の啓発に力を入れています。

今後とも交通事故防止に向け、家庭訪問等あらゆる機会による広報啓発活動など、きめ細やかな交通安全の取り組みと交通安全教育の普及啓発に努めてまいります。

議員の皆さんも、家庭や学校で、交通安全のことについて話し合い、意識の高揚を図っていただければと思います。

詳細は、担当部長より説明します。

【中学生議会 安全・安心・快適なまち 部長答弁①】

質問区分	中学生議会	議員名	相田 翔 <small>あいだ しょう</small>	議員
発言順	NO：4	所管課名	地域づくり	課

質問事項	◇安全で安心できる安曇野市について
具体的な内容 (質問取り事項)	実際に体験できる高齢者対象の安全教室の実施

【市民生活部長答弁】

相田（あいだ）議員の質問にお答えします。

市では、自動車学校の教習コースを利用した実践的な参加体験実践型の高齢者交通安全教室や、交通安全ミュージカルや反射神経テストを通してわかりやすく交通安全について考える地域訪問型高齢者交通安全教室を区などで開催し、また高齢者宅家庭訪問を毎月実施し、反射材やLEDライト等の啓発物品を配布するなど、高齢者の交通安全意識が高まるよう努めています。

また、運転に不安を持つ高齢者などに対し、運転免許証自主返納支援事業として、免許証を自主的に返納した方に9千円相当分のデマンド交通「あづみん」の回数券を交付しています。

このように、市ではあらゆる機会を捉え啓発活動に力を入れており、高齢者だけでなく歩行者、自転車、自動車等の運転手も含めて総合的な交通安全対策を展開しております。

一方、区でも、交通安全教室の開催や関係団体等のチラシの回覧などにより、地域ぐるみの安全・安心なまちづくりを推進しています。

議員の提案のとおり、高齢者の交通安全の意識を高めていただくよう、事業の充実や啓発など取り組んでいきます。

今後は、高齢者をはじめとし、あらゆる場面に参加していただけるよう努めてまいりますので、議員の皆さんにも中学生を代表するリーダーとなって、安全安心なまちづくりに共に取り組んでいただきたいと思います。

【中学生議会 安全・安心・快適なまち 市長答弁②】

質問区分	中学生議会	議員名	おおくほなつき 大久保夏輝	議員
発言順	NO:5	所管課名	都市計画	課

質問事項	◇子どもや高齢者のことを考えた都市計画
具体的な内容 (質問取り事項)	公園施設の補修更新、道路の整備、段差の排除、地面の芝生化、LEDの灯具を増やす

【市長答弁】

大久保（おおくほ）議員の質問にお答えします。

安曇野市内には、国営・県営公園と、市の都市公園があり、総面積を合わせると、227.2ヘクタールあり、市民1人当たりの公園面積は、23.17平方メートルとなり、他市に比べ充足したものになっています。

市全体では、山麓の緑も多く、緑豊かな町と評価されていますが、まち中の緑や公園という点からは、整備の必要性を感じています。

現在、市では、基幹的な公園である豊科南部総合公園に、スポーツの拠点及び地域防災の拠点として、新総合体育館の整備を進めています。

市民の皆様の身近な公園として、地域のふれあい、コミュニティの場として穂高地域では、碌山公園などがあり、定期的に施設の点検及び計画的な更新を行っています。

来年の春には第36回全国都市緑化信州フェアが、長野県及び安曇野市を含む中信四市の主催で開催されます。

フェアの開催を契機として、身近な緑への関心を高め、フェア終了後も継続して緑化に対する意識の高揚が図れるよう様々な企画を予定しており、中学生の皆様にもプランター花壇の作成などに、ご協力・ご参加をお願いします。

いただいた、五つの提案につきましては、市でも計画的に進めているところですので。

詳細は、担当部長より説明します。

【中学生議会 安全・安心・快適なまち 部長答弁②】

質問区分	中学生議会	議員名	おおくほなつき 大久保夏輝	議員
発言順	NO : 5	所管課名	都市計画	課

質問事項	◇子どもや高齢者のことを考えた都市計画
具体的な内容 (質問取り事項)	公園施設の補修更新、道路の整備、段差の排除、地面の芝生化、LEDの灯具を増やす

【都市建設部長答弁】

大久保（おおくぼ）議員のご質問にお答えします。

市内には、都市公園・農村公園・児童遊園など（200箇所）があり、大きな公園では、国営アルプスあづみ野公園〔堀金・穂高地区〕（100ha）があります。

市が管理している公園では、豊科南部総合公園（11.4ha）が最大で、市内外を問わず多くの皆さんに利用いただいています。

しかし、公園が整備された年代がほぼ同時期のため、造成後20年を経過した公園が6割あり、議員がおっしゃるとおり、遊具の劣化や老朽化が進んでいます。

そこで遊具については、定期的に点検を行い、破損個所の早期発見、修繕に努めています。

また、市では都市公園について「公園施設長寿命化計画」を平成26年1月に策定し、計画的に施設の更新を行っています。

公園施設のバリアフリー化は、車いすの他にもベビーカーを押して利用する皆様にも利用しやすいように、通路(園路)の改修や、段差を解消する工事を実施したり、トイレは多目的トイレの増設、または建て替えたりすることも実施しています。

ご提案いただいた芝生化ではありますが、豊科南部総合公園など一部の公園には、芝生はありますが、除草や水やり、時期によっては1ヶ月に1度は刈込が必要になるなど、維持管理にはたいへんお金がかかります。

また造成後年月が経ち、公園の樹木も大きくなったことから、剪定などにも費用がかかるため、全ての公園を芝生化することは、難しいと考えます。

次に、照明のLED化については、電気代が安くなることに加え、消費電力が少なく、環境にもやさしいことから、順次LED化を進めています。

先ほど述べましたように、健常者は元より、身体に障がいがある人、子どもから高齢者まで利用しやすい公園になるよう、引き続き維持管理に努めていきたいと考えます。

また、住まいの近くにある公園は、利用される地域の皆様で花の植え付けや清掃などを行っていただくことで、ご近所どうしのふれあいの場にもなるのではないかと思います。

議員の皆様も身近な公園の活用や維持管理に関わっていただければと思います。

【中学生議会 安全・安心・快適なまち 市長答弁③】

質問区分	中学生議会	議員名	やまだ あいみ 山田 愛海	議員
発言順	NO:6	所管課名	危機管理	課

質問事項	◇災害への備えや対策について
具体的な内容 (質問取り事項)	防災の日に市内全域を停電にする体験をする

【市長答弁】

山田愛海（やまだ あいみ）議員の質問にお答えします。

市民の皆さんの災害に対する知識や関心を高めるため、防災の日に、市内全域を停電にしたかどうかのご提案をいただきました。

議員が言われましたとおり、市民の皆さんの中には、本市での災害が少ないこともあって、災害に備えるという意識が浸透しているかという点では、私どもも、まだまだ不十分であると感じています。

しかし、停電は地震や台風、豪雪といった自然災害による原因で、全国各地で一年中発生する可能性がありますので、安曇野市でも、いつ発生してもおかしくありません。

ご提案の、市内全域を停電にするという方法ですが、現代社会では、電気は欠かせないインフラでありますので、市内全域を停電にすることは影響が計り知れないため、現実問題として困難であると考えます。

今後も、市民の皆さん全員に、危機感を持っていただけるよう、地区の自主防災組織会議や、地域における出前講座の際に、「災害への備え」の重要性についてお伝えして参ります。

詳細は、担当部長より説明します。



【中学生議会 安全・安心・快適なまち 部長答弁③】

質問区分	中学生議会	議員名	やまだ あいみ 山田 愛海	議員
発言順	NO: 6	所管課名	危機管理	課

質問事項	◇災害への備えや対策について
具体的な内容 (質問取り事項)	防災の日に市内全域を停電にする体験をする

【総務部長答弁】

山田愛海（やまだ あいみ）議員の質問にお答えします。

私たちの生活の中で、今や電気は無くてはならないエネルギーであり、万が一、電気が供給されなくなった場合、日常生活に大きな混乱が生じてしまいます。

「安曇野市内全域を停電にする」というご提案ですが、中部電力に確認したところ、「配電設備は市町村単位で形成されておらず、麻績村、筑北村、生坂村及び松本市の梓川地域、四賀地域までが区域内になっていること」や、電気事業者には、「電力供給義務」があるため、訓練を目的とした停電をさせることはできないとの回答をいただきました。

議員ご発言の病院等の、手術や人口透析など、入院施設がある医療機関では、自家発電装置や蓄電設備を備えているため、短時間の停電であれば問題はないと考えますが、他の医療機関や福祉関係施設、または会社や一般家庭でも、電気を利用している製品が止まるなど、日常生活への影響は計り知れません。

このように、現実問題として市内全域を停電にすることは困難でありますので、市といたしましては、会社や学校単位で、停電を想定した訓練の実施をお願いしたいと考えております。

また、各ご家庭におかれましても停電時を想定して、非常食や飲料水のほかに、石油ストーブや懐中電灯、ローソクやマッチ・ライターなどの備蓄をお願いします。

山田議員におかれましても、友人を誘うなどして、地元区の防災訓練に中学生や高校生が参加していただければ、地域の皆さまの防災意識の高揚に繋がるものと考えております。